

Crohn disease

- 10~20歳代に好発
- 4主徴はabdominal pain, diarrhea, weight loss, feverだが、肛門部病変や内外瘻(これらはCrohn diseaseの50%以上に見られる)を契機に診断されることがある
- 合併症：関節症状、皮膚症状(結節性紅斑)、口腔症状(アフタ性潰瘍)など多彩
- 病理肉眼像：縦走潰瘍、敷石像、列溝や瘻孔
- 病理組織像：全層性炎症、非乾酪性類上皮細胞肉芽腫、ulcer
- 主病変部位：小腸型40%、小腸大腸型40%、大腸型20%

【Tx】

完全な治療法は無い、一般的治療(活動期の心身の安静と食事療法)、栄養療法(日本で主流、完全静脈栄養療法や経腸栄養療法)、薬物療法(欧米で主流)、外科治療(再発率は一定しない)

- 薬物治療-----抗サイトカイン製剤(抗TNF-抗体(レミケード))
- 外科治療-----絶対的手術適応は、腸閉塞、穿孔、大量出血、癌の合併